

第24期  
事業報告

平成26年度  
平成26年8月1日から平成27年7月31日まで

公益財団法人  
全国税理士共栄会文化財団

# 第 24 期事業報告

## < 目 次 >

### I . 事業の状況

1. 顕 彰 .....	1 頁
2. 助 成 .....	2 頁

### II . 庶務の概況

1. 役員等に関する事項 .....	13 頁
2. 職員に関する事項 .....	15 頁
3. 役員会等に関する事項 .....	16 頁
4. 文部科学大臣宛の提出書類に関する事項 .....	21 頁
5. 内閣府等宛の提出書類に関する事項 .....	21 頁
6. 諸官庁宛の提出書類に関する事項 .....	21 頁
7. 登記に関する事項 .....	22 頁
8. 附属明細書に関する事項 .....	22 頁

## I. 事業の状況

### 1. 顕彰

本財団定款第4条第1項第1号及び第2項に基づき、平成27年2月19日(木)、帝国ホテル(千代田区)にて次の個人に対し、第23回「全税共 人と地域の文化賞」を贈呈した。

## 芸術活動分野

### 長谷川 孝治(青森県)

長谷川孝治氏が主宰する「劇団弘前劇場」は1978年に創設、その後38年間という長きにわたり“地域演劇”の活動を続けてきた。

その活動は、青森(津軽)という地域性と風土を基盤とした脚本と演出、それに加えて方言の微妙なニュアンスを含んだ、極めて個性的であり“地域”を覚醒させる現代の強烈な表現行為である。

また、地元である青森での公演にとどまらず、東京公演を常に前提とした上演活動にも大きな意義がある。同氏の著書『地域と演劇 弘前劇場の30年』においても、地域と格闘するように活動を続けてきた実体が描かれている。

近年、同氏は太宰 治の『津軽』を原作とした屋外劇の作・演出の成果や、日中韓共同制作の『祝/言』では東日本大震災を題材に、東北出身の俳優に加え、中国・韓国の俳優、ミュージシャン、ダンサーが登場する大規模なコラボレーション作品である。日本・中国・韓国3カ国以外にも、ドイツ・タイ・フィリピンにおいてその言語に翻訳し上演され、大きな評価を得た。

地域という概念を、さらにグローバルな視軸で広げた活動とその成果は、第23回「全税共 人と地域の文化賞」に十二分に値するものである。

## 2. 助 成

本財団定款第4条第1項第2号及び第2項に基づき、次の各分野において、個人及び団体に対し助成を行った。

### 芸術活動分野

#### ① 一般社団法人日本テレマン協会（大阪府大阪市）

50年以上のキャリアを持つバロック音楽の専門団体であり、バロック時代・古典派・現代の各時代の楽器を弾き分けることができるメンバーを有する団体としては日本唯一の存在。また指揮者の延原武春氏はドイツより功労勲章を受章するなど、その価値は国際的に認められている。

地元で毎月開催しているサロンコンサートは、著名な奏者を招聘せず地域の演奏者で行うなど育成にも尽力している。

#### ② 岩淵 貞太（東京都北区）

2005年から身体/空間/音楽等に着眼した振付作品を発表、身体・音楽・照明・美術において新しい挑戦を推し進め新鮮な身体的挑戦を提示し続けている。

劇場外でも空間の特性を活かしたパフォーマンスを発表、ワークショップの開催など多方面で活躍している注目すべき若手ダンサーである。

#### ③ 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団（京都府京都市）

「青少年のオーケストラ活動の支援」と「京都の音楽文化の振興」を目的に、平成17年度に設立された。10歳から22歳までの青少年を対象とし、オーケストラのメンバーをオーディションにより選抜、今年で設立10周年を迎える。

平成20年からスーパーバイザーに京都市交響楽団指揮者・広上淳一氏を迎え、同楽団メンバーの指導のもと日々

修練を重ねている。

#### ④ HOT HEAD WORKS PROJECT（東京都調布市）

ベルギーのダンスカンパニー創立メンバーである池田扶美代による若手ダンサーへの振付けと共演、世界で活躍する音楽家である加藤訓子との協働作業の作品を完成させる。

エンターテインメントや圧倒する技術で吸引することが多い現在の日本ダンスシーンの中、自由に観客との新しい関係を図る。

#### ⑤ オーケストラ・トリプティーク（神奈川県茅ヶ崎市）

日本最初の弦楽オーケストラ曲から委嘱作品まで、CD化されず演奏機会の極めて少ない作品を取り上げる。

日本の作曲家による作品を、演奏とCD化によって広く社会に波及させ、日本人が作曲した音楽は固有の価値を有する日本の文化遺産であるという認識を世に広める、という目的を持ち活動をしている。

#### ⑥ 特定非営利活動法人京都フィルハーモニー室内合奏団（京都府京都市）

40年以上にわたりフルオーケストラとは一線を画した活動を続け、小編成の利点を活かし聴衆との親密な関係を築いてきた。これは関西だけでなく、数多くのシンフォニーオーケストラがひしめく現状において非常に貴重である。

10月に開催する200回記念の定期公演では、狂言師・茂山童司とのコラボレーションを実現し、新進気鋭の作曲家に委嘱した新作では3台の琴が活躍する。

#### ⑦ まことクラヴ（東京都文京区）

ダンスを軸に生演奏や演劇要素も取り入れた複合型パフォーマンス集団。金沢21世紀美術館では美術館のみならず街中に出没するパフォーマンスを展開し、空間の環

境だけでなく社会環境も敏感にとらえた状況パフォーマンスを演じた。

アートスペース・商店街・電車内など劇場以外の空間を自由に使いこなすダンスカンパニーである。

### ⑧ 川口 隆夫（東京都中野区）

ダンスカンパニー“ダムタイプ”のメンバー。ここ数年は自身のプライベートな記憶をもとにしたシリーズ的な作品や、独特の視点から題材をみつけたパフォーマンス作品を作っている。

常に自身の体験、経験という確固たる出発点があり、そこに時代や人の歴史などを羽織らせることで視覚化される独特の世界を構築してきた。

### ⑨ <sup>とーらす</sup> Torus <sup>びれっじ</sup> Vil.（東京都文京区）

国内外の伝統芸能や大衆文化を学びつつ創作を行う広い分野の芸術家のネットワークとして組織された。

現代に必要とされる「場」作りを目指すプロジェクトであり、音楽やダンスを始めとする様々な領域のアーティストを繋ぎ、公演やワークショップ、アーカイブ制作を行う。2014年、音楽家・佐藤公哉の呼びかけによりスタートした。

### ⑩ 多田 <sup>しおり</sup> 汐里（神奈川県横浜市）

映像作家；赤川純一、演出家ダンサー；多田汐里、ダンサー；ロス・マクコーマックによる日本とニュージーランド国際コラボレーション作品。

身体と映像を対等な関係として融合させる表現の作品では、日本、イスラエル、中国などで国際的な評価を獲得。特にマクコーマックは日本でも注目されるアーティストである。

⑪ <sup>ちやいろいぶりん</sup> CHAiroiPLIN (東京都目黒区)

スズキ拓朗を中心に結成されたダンスカンパニー。キャストは個性あふれる演劇人・ダンサーで構成し、台詞・歌・オノマトペなどを取り入れながら〈ダンス×演劇〉というコンセプトのもと【エンターテインメント性の高い、老若男女が楽しめる舞台】の目標を掲げた公演を続ける。

近年は活動範囲を拡大し、小学校や大学の芸術鑑賞会への招聘や映像作品にも参加している。

⑫ <sup>だんす ふぁんふぁーれ きょうと</sup> Dance Fanfare Kyoto 実行委員会 (京都府京都市)

コンテンポラリーダンスに関わる若い世代のアーティスト、制作者が運営スタッフとして企画を立ち上げ、ジャンル・バックグラウンド・世代の境界を越えた対話や、情報の共有と交換、問題意識を投げ合う場として2013年にスタートした。

演劇・音楽・美術など異なるジャンルのアーティストが集い緻密で大胆な共同制作を行っている。京都のアートをめぐる現状に新風を吹き込むことを目的としている。

⑬ 一般財団法人 TODAY IS THE DAY (広島県広島市)

広島原爆投下70周年という節目となる本年、国際的なキュレーターをメンバーに迎え社会とリンクしながら世界中から集まるアーティスト達の作品を展覧する。

平成23年3月11日の東日本大震災以後、改めて見直されつつある深刻化する人類や地球の存続の危機に対して、これまでの社会の価値観を問い直すことの意義を提示する活動を行っている。

## 伝統芸能分野

① 唐桑大漁唄込復活推進実行委員会 (宮城県気仙沼市)

東日本大震災以降、唐桑の郷土芸能4団体が大同団結

し発足した。

高齢化が進み多くの若者が流出している被災地において、後継者を育成しなければ伝統芸能は存続できず、伝統文化が復活しなくては地域は再生できないため「心の復興」を合言葉にして活動している。

## ② 湯原神社 <sup>しきさんば</sup> 式三番保存会（長野県佐久市）

湯原神社の式三番は 260 年以上の歴史をもち、秋の例祭として 9 月の最終日曜に行われる伝統芸能である。昭和 56 年に長野県指定無形民俗文化財に指定された。

秋の奉納の他には、伊勢神宮における奉納や県内・市内での記念式典、イベント等への出演をしている。また式三番を理解してもらうための解説用パンフレットや、古語で分かりにくい詞章を現代語にした「超訳」を作成、さらに映像を DVD 化し後世に伝承する活動をしている。

## ③ 松森町津軽獅子舞保存会（青森県弘前市）

弘前藩の庇護を受け、藩主上覧や八幡宮祭礼参加などの名誉を持つ獅子舞の伝統を伝える芸能であり、津軽地方の獅子舞の中には松森町から教えを受けた地域も多い。

上演が途絶えた演目の復活に取り組む一方、地域外の人々を受け入れるなど新しい時代に即した活動を模索している。

## ④ 永井地区まちづくりの会（岩手県盛岡市）

永井地区に伝わる「永井さんさ踊り」は約 115 年の歴史があるが、後継者不足により上永井地区の盆踊りで一部踊られているだけであった。

地元小学校では踊りの練習以外にも、郷土愛を育むことを目的に伝統芸能クラブが発足するなど学校教育の一環として学ぶなど伝承活動を展開している。

⑤ <sup>あのり</sup>安乗 人形芝居保存会（三重県志摩市）

400 年余り受継がれていた安乗人形芝居は、昭和 55 年に国の重要無形民俗文化財に指定された。毎年 9 月に開催される奉納上演をはじめとする活動を通して、日頃の練習の成果を披露し、後継者育成のために小学生に人形劇、中学生には人形芝居の指導に努めている。

学校行事での上演のほか県や市町からの要請に応え公演を行うなど、保存・継承ならびに啓発、地域振興のため幅広く積極的な活動を展開している。

⑥ <sup>にしながれほんまち</sup>西流 本町（福岡県飯塚市）

享保年間に始まった飯塚山笠は、西流・東流の二団体により奉納行事として行われてきた 200 年以上続いた伝統芸能であるが、筑豊炭鉱の閉山や人口流出に伴う担い手不足により昭和 36 年頃に途絶えた。

昭和 46 年、地域の活力を取り戻すために復活、現在は五つの団体で山笠が行われ、飯塚市において人材育成、町内活動の活性化、人脈形成に欠かせない行事となっている。

⑦ 小川獅子舞保存会（高知県安田町）

300 年以上の歴史があり、テガイ子（踊り手）は小学生から中学 2 年生までの男子女子からなる。近年は過疎化の影響により、子供数の減少や地域の小学校の閉校により活動を維持することが困難となっている。

同保存会が中心となり安田町全体で子供の参加を募り、地域の誇りである小川獅子舞の再興と地域の活性化を目指し取り組む。

⑧ 大船渡復興まつり実行委員会（岩手県大船渡市）

東日本大震災の被災地を盛り上げるため、大船渡市民が協働で作りに上げた祭りは今年節目の 5 回目を迎える。

毎年、未来への希望のために開催される祭りは地域経済と文化の復興の手助けとなっているが、今年は韓国の団体も参加するなど、更に大きな実りが期待できる。

### ⑨ 飯田町吾妻町町内会（石川県珠洲市）

毎年 7 月に開催される燈籠山祭りは、能登では珍しい祇園祭（曳山祭）として 400 年近くの歴史がある。高さ約 6 メートルの人形を載せた豪華絢爛な曳山を燈籠山といい、その制作や組立てには一定の技術が必要だが、その技術を自分たちの手で後世に継承するべく小学生から年配者までの町民が力を合わせて取り組んでいる。

若者や子供達の祭りへの期待と郷土愛を育み、燈籠山祭りの継承、地域の活性化、過疎化を食い止めることに繋がると信じて活動している。

### ⑩ 滝山地区 <sup>りゅうざん</sup> 瀧山太鼓保存会（山形県山形市）

蔵王山系の一つである瀧山の麓、滝山地区を中心に 30 年以上にわたり活動している。楽曲は瀧山の自然をイメージし、雄大さや厳しさを表現しているのが特徴である。

滝山小学校の児童、また指導者である大人の 2 部門で様々なイベントにおいて演奏しているが、なり手と指導者の不足により継承が難しいため、子供たちに豊かな創造力や仲間との信頼関係を育むことを目的とした指導をしている。その結果、成人した子供たちがなり手として加わるなど後継者育成の成果も表れている。

## 伝統工芸技術分野

### ① <sup>てんみょう いもの</sup> 天命 鑄物 伝承保存会（栃木県佐野市）

佐野市の天命は平安時代中期に起源をもつ東国で最も古い鑄物制作地だった。室町時代には茶の釜の産地として隆盛をみたが、現在鑄造業は 4 工房しかなく技術・歴

史は衰亡の危機にある。

保存会として工芸史などの研究者や鑄造作家による講演会、技術・歴史の継承活動、県の指定文化財である天命鑄物の生産用具・資料の整理保存、研究会及び後継者育成講座の開催など、天命鑄物を後世に伝える様々な活動を行っている。

## ② 阪本 茂作（奈良県奈良市）

7、8世紀の東洋文化の粹 9千点余りからなる正倉院御物の復元模造や、文化庁の事業である「国宝 古神宝類の復元模造事業」の中から、春日大社が所蔵する平胡籙（ひらやなぐい）の復元模造の依頼を受けてその制作を行っている。復元模造制作を行うことで、工芸品の材質や製作技法等の再現と伝統的技術の継承のみならず、移動や公開展示に伴う原品のリスクを軽減できる。

また、復元模造はレプリカを制作するのではなく原品のオリジナルの要素を正確に抽出し、可能な限り当時の姿を再現することを目指すものである。

## ③ 八幡酒蔵工房「いまさか <sup>ぶろじえくと</sup> P J」（滋賀県近江八幡市）

近江八幡市の琵琶湖水郷に面した八幡山をベースに里山再生に取り組む。化学燃料の登場により生活様式が変化したことで進んでいる里山の荒廃を止めるため、耕作放棄地の有効利用、放置竹林の整備作業を行っている。

特に伝統工芸である竹編みの技術を地域住民に普及させ、愛好者を増やすことで伝統工芸のすそ野を広げ、伝統竹工芸技術の継承を図っている。

## ④ 松本みすず細工復活プロジェクト（長野県松本市）

みすず細工はスズタケを使用して作る生活用品。昔は農家の冬の副業であり、嘉永 2 年（1849）には特産品として有名だったと言われている。昭和に入りプラスチック製品が普及すると衰退しはじめ、平成 21 年には継承者

が途絶えた。

このプロジェクトは、伝統のあるみすず細工の技術を後世に継承すべく全国各地の竹細工職人から学び歴史を調査し、製品を復元するなど普及活動に努めている。

#### ⑤ 公益財団法人滋賀県陶芸の森（滋賀県甲賀市）

現在は数軒でしか使用していない登り窯は、昭和40年代まで信楽を代表するスタイルの窯であった。また、薪で焼成することからやきものの原点というべき窯である。

信楽高校セラミック科を中心に登り窯の知識や信楽焼の伝統に触れ、その伝統のひとつである登り窯焼成技術の継承を図るため、信楽で制作する陶芸家や産業後継者も参加した「登り窯焼成事業」を行っている。

#### ⑥ 下出蒔絵司所（京都府京都市）

蒔絵は仏壇仏具の装飾や漆器の装飾に用いられることが多いが、近代は生活様式の変化により仏具や漆器の需要が低迷しており、それにより蒔絵職人の仕事量が減少している。また、蒔絵技能者の高齢化が進み早急な後継者育成が必要とされているが、現状は大変に厳しい。

若手職人の作品制作と制作工程の文章化を推進、対外的に発信していく活動をしている。

#### ⑦ もんま こうぞ 文間 楮 一利根町で育てる紙の木ープロジェクト(茨城県利根町)

近代化による機械化、生活スタイルの変化等に伴う和紙の需要低下により和紙業界が衰退し、また後継者人口の減少などで日本的文化である「和紙」の伝統技法の継承が危ぶまれている。

2011年より茨城県文間村（現利根町）にて和紙の原料である楮の栽培を始め、その製法（漉き方）から製品化に至るまでの制作過程の保存継承、そして『和』を冠する紙文化を未来へと紡ぐ取組みを行っている。

**⑧ 龍村 <sup>あまね</sup> 周（京都府京都市）**

伝統織物の普及発展に貢献してきた精神を代々受け継ぐ。日本の文化であり宝である錦の伝統織物は多くの工程があり高度な専門技術を要する。

近年は職人の高齢化や経済不況等により衰退の危機にあるため、技術の保存と後継者問題の解決の糸口になるような作品を創造し、展覧会や講演会を通じて世に発信する。

**⑨ 公益社団法人日本左官会議（東京都中央区）**

伝統技術をもつ左官職人が中心になり設立された。全員が現役であり、文化財指定の土蔵、寺社をはじめ現代住宅などに土や漆喰などを取入れる仕事を手掛けており、左官の立場から発信を行っている。

しかしながら、職人の視点や考察が一般に知られることはなく記録化もされにくいいため、研修会を開き伝統文化を見直し、修復の技術と共に後世に継承していくことを目的としている。

**⑩ 公益財団法人仙台市市民文化事業団（宮城県仙台市）**

埋木細工は仙台にしかない伝統工芸であるが、亜炭鉞山の閉山と共に埋木採掘が終了、新たな原材料が確保できないため技術や文化が消滅しようとしている。

このような現状においてできることは、現在ある工芸品を保存し、埋木細工の価値を広めることである。地域文化への再認識を高め、新たな貴重資料の発掘にも繋がる意義深い活動である。

## 人材養成事業分野

**① 公益社団法人全国公立文化施設協会（東京都中央区）**

全国各地の公立文化施設は、文化芸術の鑑賞機会を提

供し市民や芸術家等との連携を通じて文化性豊かな地域社会づくりを目指して様々な活動を行っている。

これら活動を着実に展開していくため、また「地方創生」を実現する上でも公立文化施設の役割は重要となるため、各施設の職員の能力や専門性を高める人材の養成事業を行っている。

## ② 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団（神奈川県横浜市）

横浜市全域での歴史的建造物などを再生・活用し、横浜独自の魅力を活かした文化環境づくりをしている。

専門家や住民が交流して文化創造・発信をし、ボランティアを希望する市民や大学生などにツーリズムに関する研修プログラムを実施することで広く理解を深めてもらう機会となるよう活動している。

## ③ いずみホール協働事業体（東京都国分寺市）

国分寺市市制施行 50 周年記念の冠事業として、アートプロデューサーの育成を目的に 3 年間にわたり実施、講座参加者は同市にあるいずみホールで上演する本格的な芸術文化事業の企画立案から上演までの実務を学ぶ。

新たな公共ホールの役割を目指す点で独創的な事業であり、市民による地域文化の活性化をめざすためにも欠かせない人材養成事業である。

## II. 庶務の概況

### 1. 役員等に関する事項 (平成 27 年 7 月 31 日現在)

役職名	氏名	就任年月日	職務	報酬	現職
評議員	東 龍 男	H23. 8. 1		なし	放送作家、作詞家、脚本家
評議員	井 上 幸 夫	H25. 9. 30		なし	全国税理士共栄会副会長
評議員	織 田 紘 二	H23. 8. 1		なし	演出家、日本芸術文化振興会顧問
評議員	神 津 信 一	H25. 9. 30		なし	日本税理士会連合会会長
評議員	白 石 和 己	H23. 8. 1		なし	山梨県立美術館館長
評議員	須 崎 晃 一	H23. 8. 1		なし	住友生命保険相互会社常任顧問
評議員	根 木 昭	H23. 8. 1		なし	昭和音楽大学教授
評議員	萩 原 朔 美	H23. 8. 1		なし	多摩美術大学理事、教授
評議員	前 新 健千代	H25. 9. 30		なし	全国税理士共栄会相談役
評議員	宮 田 義 見	H25. 9. 30		なし	近畿税理士会顧問

(10名)

理 事	南 口 純 一	H23. 8. 1	理 事 長	なし	全国税理士共栄会会長
理 事	藤 田 讓	H23. 8. 1	副理事長	なし	朝日生命保険相互会社最高顧問
理 事	角 本 浩 一	H23. 8. 1	専務理事	なし	全国税理士共栄会常務理事
理 事	三 隅 治 雄	H23. 8. 1	常務理事	なし	(独)東京文化財研究所名誉研究員
理 事	森 征一郎	H25. 9. 30	常務理事	なし	全国税理士共栄会副会長
理 事	齋 藤 勝 利	H23. 8. 1		なし	第一生命保険株式会社代表取締役会長
理 事	櫻 田 謙 吾	H23. 8. 1		なし	損害保険ジャパン日本興亜株式会社取締役会長
理 事	佃 一 可	H23. 8. 1		なし	一茶菴家元十四世
理 事	筒 井 義 信	H25. 9. 30		なし	日本生命保険相互会社代表取締役社長
理 事	仁 科 エ ミ	H25. 9. 30		なし	放送大学教授、総合研究大学院大学教授
理 事	藤 本 草	H23. 8. 1		なし	(公財)日本伝統文化振興財団会長

(11名)

監 事	小 林 恒 男	H25. 9. 30		なし	全国税理士共栄会副会長
監 事	松 尾 憲 治	H23. 8. 1		なし	明治安田生命保険相互会社特別顧問
監 事	吉 田 雅 俊	H23. 8. 1		なし	株式会社日税ビジネス代表取締役会長兼社長

(3名)

分野名	氏名	就任年月日	職務	報酬	現職
芸術活動	榎本了壱	H23.8.1	選考委員長	なし	京都造形芸術大学客員教授
芸術活動	大瀨純三	H23.8.1	選考委員	なし	音楽評論家、NHK文化センター講師
芸術活動	杉昌郎	H23.8.1	選考委員	なし	舞踊作家
芸術活動	蜷川有紀	H23.8.1	選考委員	なし	画家、女優
芸術活動	林あまり	H23.8.1	選考委員	なし	歌人、演劇評論家
伝統芸能	大橋力	H23.8.1	選考委員長	なし	(公財)国際科学振興財団主席研究員 ・情報環境研究所所長
伝統芸能	藍本結井	H23.8.1	選考委員	なし	日本舞踊評論家・研究家
伝統芸能	児玉信	H23.9.8	選考委員	なし	芸能評論家、邦楽プロデューサー
伝統芸能	田中英機	H23.9.8	選考委員	なし	くらしき作陽大学客員教授
伝統芸能	手島敦子	H24.12.3	選考委員	なし	国立劇場制作部公演計画課長
伝統工芸	馬場璋造	H23.8.1	選考委員長	なし	建築評論家
伝統工芸	金子賢治	H23.9.8	選考委員	なし	茨城県陶芸美術館長
伝統工芸	佐々木正直	H25.8.1	選考委員	なし	群馬県立館林美術館館長
伝統工芸	戸津圭之介	H23.10.21	選考委員	なし	東京芸術大学名誉教授
伝統工芸	藤森照信	H23.9.8	選考委員	なし	建築家、東京大学名誉教授
人材養成	秋場良司	H23.8.1	選考委員長	なし	全国税理士共栄会副会長
食文化	岡副真吾	H27.1.26	選考委員	なし	金田中三代目主人
食文化	奥村彪生	H27.1.26	選考委員	なし	伝承料理研究家
食文化	神崎宣武	H27.1.26	選考委員	なし	民俗学者、旅の文化研究所所長
食文化	熊倉功夫	H27.1.26	選考委員	なし	静岡文化芸術大学学長
食文化	宮嶋勲	H27.1.26	選考委員	なし	ジャーナリスト

(21名)

顧問	瀬戸晃	H23.8.1		なし	全国税理士共栄会顧問
顧問	今野和郎	H23.8.1		なし	全国税理士共栄会相談役
顧問	惣洞和子	H23.8.1		なし	全国税理士共栄会顧問
顧問	久原久	H23.8.1		なし	全国税理士共栄会顧問

(4名)

\*任期

評議員：平成23年8月1日から平成27年9月定時評議員会終結時  
理事：平成25年8月1日から平成27年9月定時評議員会終結時  
監事：平成23年8月1日から平成27年9月定時評議員会終結時  
選考委員：平成25年8月1日から平成27年7月31日

## 2. 職員に関する事項

職 務	氏 名	就任年月日	担任事務
局 長	佐 伯 仁	H24. 4. 1	職員の管理監督等
職 員	桑 原 加奈子	H14. 5. 10	事務全般
職 員	宮 崎 真	H26. 8. 1	事務全般

### 3. 役員会等に関する事項

#### (1) 理事会

開催日	議事事項	会議結果
平成26年9月22日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第23期事業報告(案)に関する件</li> <li>2. 第23期収支決算報告(案)に関する件</li> <li>3. 公益目的事業の追加に係る定款変更に関する件</li> <li>4. 選考委員会規程の一部変更に関する件</li> <li>5. 第24期定時評議員会開催等に関する件</li> <li>6. 第24期定時評議員会提出議案等に関する件</li> <li>7. ㈱中田ビジネスコンサルティングとの業務委託契約の継続に関する件</li> </ol>	原案どおり可決
平成27年1月26日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第23回顕彰対象者の決定に関する件</li> <li>2. 第24期助成対象者の決定に関する件</li> <li>3. 食文化分野における選考委員の選任に関する件</li> <li>4. 顕彰助成選考方法等検討委員会の設置に関する件</li> <li>5. 特定資産国債満期償還後の運用に関する件</li> <li>6. 第25期顕彰及び助成募集要領等に関する件</li> </ol>	原案どおり可決
平成27年6月12日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第25期事業計画書(案)に関する件</li> <li>2. 第25期収支予算書(案)に関する件</li> <li>3. 任期満了に伴う選考委員の改選に関する件</li> <li>4. 定款の一部変更に関する件</li> <li>5. 退任評議員に対する感謝状等の贈呈に関する件</li> <li>6. 特定資産定期預金・国債満期償還後の運用に関する件</li> <li>7. 第24期臨時評議員会開催等に関する件</li> <li>8. 第24期臨時評議員会提出議案等に関する件</li> </ol>	原案どおり可決

## (2) 評議員会

開催日	議事事項	会議結果
平成26年10月1日	1. 第23期事業報告(案)に関する件 2. 第23期収支決算報告(案)に関する件 3. 公益目的事業の追加に係る定款変更に関する件	原案どおり可決
平成27年7月1日	1. 定款の一部変更に関する件	原案どおり可決

## (3) 監事会

開催日	議事事項	監査報告
平成26年9月1日	第23期中間監査 平成26年2月1日から平成26年7月31日まで  第23期決算監査 平成25年8月1日から平成26年7月31日まで	事業報告は法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しており、理事の職務執行に関する不正行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適法且つ適正に示している。
平成27年3月2日	第24期中間監査 平成26年8月1日から平成27年1月31日まで	監査対象期間の業務は法令及び定款に従い、適法且つ適正に執行されている。財務諸表及び財産目録等は、法人の財産及び収支の状況をすべて適法且つ適正に処理されている。

## (4) 選考委員会

開催日	議事事項	会議結果
平成26年12月9日	1. 第23回顕彰「全税共 人と地域の文化賞」対象の選考に関する件 2. 第24期助成対象の選考に関する件	選考結果参照

### < 選考結果 >

#### ① 顕 彰 (第23回全税共 人と地域の文化賞)

##### 芸術活動分野

長谷川 孝治 (青森県青森市)

正 賞 : ブロンズ像 (栗津 潔 作)

賞 金 : 100万円 (本財団)

副 賞 : 100万円 (出捐団体/全国税理士共栄会)

#### ② 助 成

##### 芸術活動分野

助 成 対 象 名	都道府県	助成金額
一般社団法人日本テレマン協会	大阪府	35万円
岩 淵 貞 太	東京都	35万円
公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団	京都府	35万円
HOT HEAD WORKS PROJECT	東京都	35万円
オーケストラ・トリプティーク	神奈川県	35万円
特定非営利活動法人京都フィルハーモニー室内合奏団	京都府	35万円

助成対象名	都道府県	助成金額
まことクラブ	東京都	35万円
川口 隆夫	東京都	35万円
Torus Vil. (とーらすびれっじ)	東京都	35万円
多田 汐里 (しおり)	神奈川県	35万円
CHAIroiPLIN (ちゃいろいぷりん)	東京都	35万円
Dance Fanfare Kyoto 実行委員会	京都府	35万円
一般財団法人 TODAY IS THE DAY	広島県	35万円
計 13 件		455万円

### 伝統芸能分野

助成対象名	都道府県	助成金額
唐桑大漁唄込復活推進実行委員会	宮城県	50万円
湯原神社式三番 (しきさんば) 保存会	長野県	50万円
松森町津軽獅子舞保存会	青森県	29.2万円
永井地区まちづくりの会	岩手県	50万円
安乗 (あのり) 人形芝居保存会	三重県	50万円
西流本町 (にしながれほんまち)	福岡県	50万円
小川獅子舞保存会	高知県	17.5万円
大船渡復興まつり実行委員会	岩手県	50万円

助成対象名	都道府県	助成金額
飯田町吾妻町町内会	石川県	50万円
滝山地区瀧山（りゅうざん）太鼓保存会	山形県	41.9万円
計 10 件		438.6万円

### 伝統工芸技術分野

助成対象名	都道府県	助成金額
天命鑄物（てんみょういもの）伝承保存会	栃木県	45万円
阪本 茂作	奈良県	45万円
八幡酒蔵工房「いまさかPJ（ぷろじえくと）」	滋賀県	45万円
松本みすず細工復活プロジェクト	長野県	45万円
公益財団法人滋賀県陶芸の森	滋賀県	45万円
下出蒔絵司所	京都府	45万円
文間楮（もんまこうぞ）－利根町で育てる紙の木－プロジェクト	茨城県	38万円
龍村 周（あまね）	京都府	45万円
公益社団法人日本左官会議	東京都	45万円
公益財団法人仙台市市民文化事業団	宮城県	45万円
計 10 件		443万円

## 人材養成事業分野

助成対象名	都道府県	助成金額
公益社団法人全国公立文化施設協会	東京都	50万円
公益財団法人横浜市芸術文化振興財団	神奈川県	50万円
いずみホール協働事業体	東京都	50万円
計 3 件		150万円

## 4. 文部科学大臣宛の提出書類に関する事項

該当なし

## 5. 内閣府等宛の提出書類に関する事項

提出日	届出・報告事項
平成26年10月21日	変更の届出（定款の変更）
平成26年10月31日	平成25年度事業報告等の提出
平成27年7月7日	平成26年度事業計画書等の提出
平成27年7月7日	変更の届出（評議員の変更）
平成27年7月7日	変更の届出（定款の変更）

## 6. 諸官庁宛の提出書類に関する事項

提出日	提出書類	官庁名
平成27年1月28日	平成26年分給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表	品川税務署
平成27年4月1日	平成27年度都民税（均等割）免除申請書	品川都税事務所

## 7. 登記に関する事項

登記日	提出書類	官庁名
平成26年10月1日	公益目的事業変更登記	東京法務局

## 8. 附属明細書に関する事項

平成26年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以上